

■【3】地域のために、地域（あなた）ができることについて（問8）～（問10）

【地域で取り組むとよいと思うことは「地域で困っている人を支え合うこと」。実際の地域への関わりはまだ少ない】

住みよい地域にするためには、地域の方の関わりが必要であることから、『地域で取り組むとよいと思うこと』、『実際に地域のために行っていること』、『行えること（してみたいこと）』について伺いました。

まず、地域で取り組むとよいと思うことは、割合が高い順に「高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」、「防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」、「子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること」となっています

またその上で、『実際に行っていること』について伺ったところ、「特になし」と回答した方が4割弱と最も多く、実際に地域のために何かを行っているという方は、それほど多くはないようです。

最後に、『現在行っていないことで、今後できること（またはしてみたいこと）』について伺ったところ、「災害時における住民の助け合い活動」が3割を超え、最も高くなりました。

平成23年3月の東日本大震災や今後の発生が危惧されている大地震を理由とし、災害に対する関心の高さが表れていると考えられます。

■【4】まちづくりの状況について（問11）

○基本目標の重要度・満足度について

「平塚市総合計画 生活快適・夢プラン」に基づき実施している本市のまちづくりに対して市民がどのように感じ、それぞれの基本目標をどう評価しているかを把握するための質問です。

平成23年度の住民実態調査において、同様の質問を行いました。今回は各基本目標ごとに次のようなグループ名を付けて伺っています。

- 基本目標1：《学校教育・生涯学習・交流》（問11-1～7）
- 基本目標2：《地域づくり・子育て・福祉》（問11-8～15）
- 基本目標3：《環境・都市基盤》（問11-16～21）
- 基本目標4：《産業》（問11-22～30）
- 基本目標5：《安全・快適・行政》（問11-31～40）

（満足度について）

各基本目標において、「大変満足」と「満足」を合わせた割合は、各基本目標とも3割を超えていません。満足度の順位としては前回同様、「基本目標3」が最も高く、前回調査と比較して3.6ポイント増加しています。また、「基本目標4」は0.8ポイント増加しているものの、「基本目標1」が0.6ポイント、「基本目標2」が2.1ポイント、「基本目標5」が1.0ポイントそれぞれ下がっていることから、これらの分野については更に充実した施策の展開が求められます。

（重要度について）

重要度については全ての基本目標で下がっていますが、未回答が多かったことによるものだと考えられます。

重要度の順位は、前回同様1位が「基本目標5」、2位が「基本目標2」となっていることから、引き続き安心して暮らせるための施策が望まれていることが推測されます。